

1097回——。鹿児島地方気象台が集計した昨年1年間の桜島の噴火回数である。今年は例年より少ないものの、7月末現在で約270回発生している。

火山灰はクルマに様々な悪影響を及ぼす。硫黄などの酸化物やカルシウムが降雨や洗車で溶けてガラスに付着し、放置して乾燥することで固着する「ウロコ」もそのひとつだ。そのため、鹿児島の人々にとって「ウロコ取り」は、数年に1回、手入れの悪い人だと毎年のように行う、非常に一般的なメンテナンスである。

そんな鹿児島で、ウロコ取り市場を席巻している業務用ケミカルがある。ウイズ鹿児島の『ぴか太郎・ウイズR1』がそれだ。

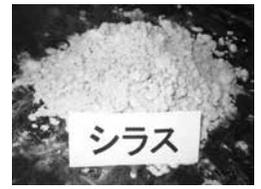
これまでの常識を打ち破る
安心・安全なウロコ取り剤

ウロコ取りは非常に厄介な作業である。軽度なものであれば油膜除去剤で落ちることもあるが、ウロコ状の模様が浮かび上がり、さらには爪に引っかかりを感じるような状態のものになると、ガラスコンパウンドを用いて研磨したり、酸性の薬品が含まれている専用ケミカルでガラス表面を溶かしながら落とさ

鹿児島発の驚異のウロコ取り剤!!

ぴか太郎・ウイズ R1

火山生まれのシラスで頑固なウロコを根こそぎ除去
自然の恵みだからガラスを傷つけず、人体にも無害



ぴか太郎・ウイズR1の主成分であるシラス。

なければ完全には除去することはできない。
ガラスコンパウンドを使用する

際は、ガラス全面を均一に研磨しないとガラスに歪みが生じるため、相應の技術と作業時間が必要だ。一方、専用ケミカルによるウロコ取りはガラス表面を溶かすため、ウロコは落ちてもガラスが白化してしまうケースもある。また、極めて毒性の強い薬品が含まれているケミカルもあるので、十分な知識、技術、装備を備えたうえで使用しないと危険である。

これに対して『ぴか太郎・ウイズR1』は、ガラスコンパウンドのように熟練の技術を要せず、かつ専用ケミカルのようにガラスや人体を傷めることなく、どんなウロコも短時間でスッキリ落とすことができる。

主成分はシラス！ガラスにも人体にも無害で洗浄力は抜群

その秘密は主成分にある。『ぴか太郎・ウイズR1』の主成分は、数万年に及ぶ火山活動により九州南



ぴか太郎・ウイズR1 (初期導入キット)

部一帯に堆積した「シラス」(写真)を約1000℃で加熱し、数ミクロン(※ミクロン=1000分の1mm)に微粒化したものである。

シラスは、かねて研磨剤としても活用されている。シラスの主成分である二酸化ケイ素はガラスの主成分でもあり、約1000℃で加熱加工することにより、微粒化するとともに、硬度をガラスと同化。これにより、ガラスコンパウンドのようにガラスごとウロコを削り取るのではなく、ウロコだけを除去することができるのである。

また、同様に加熱加工されたシラスは石けんや洗顔料にも使用され、好評を博している。そのことから明らかのように、『ぴか太郎・ウイズR1』はガラスを溶かしたり、傷つける心配がないうえ、人体や環境

車検・点検のお客様にプラスワンメニューとして提案販売

～ 〇〇〇 店～

〇〇〇 は、ウイズ鹿児島島の提案を受けて2012年より『びか太郎・ウイズR1』を取り扱い開始。当初は主に下取車を中古車として商品化するために使用していたが、現在は車検・点検のお客様に対する提案商品としても展開している。

◆ ◆
〇〇〇 店で工場長を務める 〇〇〇 さんによると、ウロコ取りに関してはか



〇〇〇 店
(鹿児島県鹿児島市)

ねて中古車商品化の作業として必要に応じて実施していた。しかし、以前使っていた溶剤は落ちが悪く、フロントガラス1枚仕上げるのに早くても数十分、時には1時間近くかかることもあったため、症状が酷いものは業者に外注していたそうだ。

そのため、原価低減の観点から短時間でウロコを落とすことができる溶剤を探し求めていた。そんな折、ウイズ鹿児島より提案があったのが『びか太郎・ウイズR1』である。

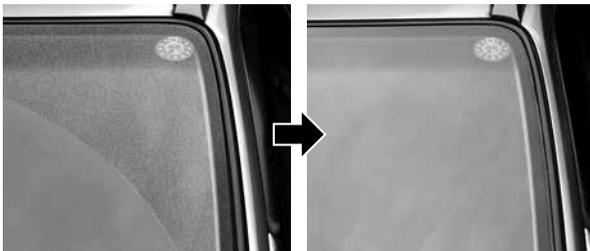
サンプルで実際に作業を行ったところ、「ウロコが固着したフロントガラスが十数分で新品と遜色ないほどキレイに仕上がった」(〇〇〇 工場長)ことから、以来、中古車商品化のウロコ取りはすべて、『びか太郎・ウイズR1』を用いて内製している。



〇〇〇 店の 〇〇〇 工場長。びか太郎・ウイズR1について「短時間で仕上がるため、車検・点検のお客様に対するプラスワンメニューとしても最適」と評価する。

また、優れた作業性を活かして、車検・点検のお客様に対するプラスワンメニューとしても展開。受け入れ時の外観チェックでウロコの付着が確認された場合に、「そのまま放置すると視界の妨げになり、運転にも支障を来しかねない」などとアドバイスしながら推奨している。

地域柄、ウロコ取りの需要が多いこともあり、販売実績は毎月40台前後で推移。「車両の品質向上で追加整備が減少傾向にある中、車検・点検の単価を維持するうえで不可欠なメニューとなっている」(〇〇〇 工場長)という。



フロントガラスのワイパーの非接触部に付着した頑固なウロコも、『びか太郎・ウイズR1』を使用すれば10～15分で除去し、写真のようにスッキリ仕上げることができる。

にも無害な、誰でも安心して使えるウロコ取り剤と言うことができる。

火山の力！たった10～15分で頑固なウロコを根こそぎ除去

使用方法は、ポリッシュャーやドライバードリルに専用バフを装着し、適量(フロントガラスで約10ccが目安)の溶剤を垂らして磨きあげるだけ。専用バフはシラスをしつかり保持し、かつガラス面に密着させることで、ウロコ取り効果を最大限に発揮するよう専用設計されたもので、これによりフロントガラスだけ



フロントガラスなら養生を含めても10～15分で仕上げるができる。なお、作業方法はホームページで詳しく紹介されている。

ら、養生を含めても10～15分でキレイに仕上げることができる。

また、小型の専用バフを使用すれば、ドアミラーに付着したウロコも簡単に落とすことができる(作業時間は片側2～3分)。

鹿児島島のような一部の地域を除けば、従来、ウロコ取りは特殊なメンテナンスに過ぎなかった。しかし、ウロコは近年、プライバシーガラスの普及により目立ちやすくなってきたことに加え、降雨後すぐに強い日差しが照りつけるような気象状況の多発により発生しやすくなっているため、ウロコ取りの需要は全国的に高まりつつある。

そのため、ウロコ取りの本場とも言える鹿児島で市場を席巻している『びか太郎・ウイズR1』は、ウロコ取りはもちろん、ガラスコーティングの下処理としても要チェックだ。